

51ST.

Sala
「MASAKA」
サー・ラ・マサカ

CONCERT

鮫島 明子 ショパンを巡るコンサートシリーズ
1860年製プレイエルとともに“風の足跡”

第3回

オギンスキ：

ポロネーズ「さらば祖国よ」

作者不明：

ドゥブロフスキのマズルカ

(ポーランド国歌「ポーランド未だ滅びず」)

ショパン：

ポロネーズ ト短調(遺作)

エチュード op.10-12「革命」

歌曲 op.74-2「春」(リスト編曲)

バラード No.2 op.38

ワルツ op.34-2

スケルツォ No.1 op.20

マズルカ数曲

幻想ポロネーズ op.61

(曲目は変更になる場合があります)



AKIKO SAMEJIMA
CHOPIN
CONCERT SERIES
WITH PLEYEL

Vol.3

ショ
パンと
ポー
ランド

その誇り高き民族精神

2025 年
6/22 (日)

15:00 開演
14:30 開場

消費税込

一般 4,000 円

学生 3,000 円

(要予約・全自由席)



51ST.

Sala

CONCERT

MASAKA

サーラ・マサカ

鮫島 明子 ショパンを巡るコンサートシリーズ 1860年製プレイエルとともに“風の足跡”

第3回

ショパンと
ポーランド

その誇り高い
民族精神

“気分がよく体力のある時には、自分自身の音を作り出せるプレイエルを弾く”と弟子に語っていたショパン。彼にとってプレイエルは、生涯で一番愛した唯一無二のピアノでした。まろやかで軽く、繊細なその音質は、自分を理解してくれる少数の人に語りかけるようなショパンの私的な音楽に添えてくれるものだったのでしょうか。プレイエルの音に委ねたショパンの想いとは…。プレイエルを介してショパンの手から生まれたものとは…。今回、私たちは1860年製のプレイエルを聴きながら、ショパンとショパンの音楽、そして19世紀ヨーロッパのサロンの雰囲気、を自由に様々に思い巡らすことでしょう。“風の足跡”を旅するような密やかなお時間を皆様と共有できますことを楽しみに致しております。

ピアニスト・鮫島明子



AKIKO SAMEJIMA
CHOPIN
CONCERT SERIES
WITH PLEYEL

予告

第4回…ショパンの手～思考と靈感、全てが宿る所

第5回…ショパン、現在・過去・未来～独創性と普遍性

AKIKO SAMEJIMA PIANO

1985年、桐朋学園大学卒業後、渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院演奏家資格及びコンサーティスト資格を最優秀で修了後、1989年サン・ノン・ラ・ブルテッシュ国際ピアノコンクール第2位、同時に課題曲最優秀演奏賞受賞。パリを中心にフランスで演奏活動を行い、1989年秋に帰国。草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルでのアシスタントピアニスト、内外の演奏家との共演、韓国とマレーシアでの室内楽&リサイタル、日本文化人訪中団の一員として中国を訪問するなど幅広く活動。東京と横浜でリサイタルや室内楽など数多くのコンサートを行い、特にテーマ性を持ったリサイタルやトークを織り交ぜながらのコンサートでは音楽の魅力をわかりやすく伝えたと共に、作品への深い解釈と繊細で凛とした美しいタッチによる演奏は高い評価を集めている。後進の指導ではオーディションやコンクールの審査、公開レッスンの講師など務めるほか、日頃から幅広い年齢層における個々の身体技法・感覚・思考の繋がりを追求したトータルなレッスンを展開する。そのモットーは“むづかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く！”。ナミレコードからこれまでにモーツァルトとショパンのCDがリリース。各音楽紙で特選盤、推薦盤として絶賛される。ピアノを辛島仔細子、松岡貞子、ヴラド・ベルルミュテル、フランス・クリダ、ジャン・フランソワ・エッセールの各氏に、室内楽を三善晃、山根美代子、セルジュ・ユレル、セルジュ・コロの各氏に師事。

開催終了

第1回…ショパンの美学
2023年11月19日



第2回…ショパンと女性たち
2024年6月30日



Sala
MASAKA
サーラ・マサカ

ご予約
お問合わせ ☎ 090-3504-4379
✉ salamasaka@kf6.so-net.ne.jp
〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町 514-13
JR 横須賀線/湘南新宿ライン「東戸塚駅」東口より徒歩5分



予約用 QR コード

改札を出て左手【東口】の階段(またはエレベーター、エスカレーター)で1階まで下りる

- 1 駅正面にある西武に向かって右方向に進む
- 2 ナチュラルローソン、セブンイレブンの前を通り、「品濃町」交差点で左折
- 3 ファミリーマート前を通りパチンコ店がある信号(白旗神社入口)で右折
- 4 歯科医院の入っているマンションの1軒先が Sala MASAKA。

横浜市戸塚区に立地する小さな音楽ホール“Sala MASAKA”。

天井高6m、客席数60、トレードマークとなる大きな音響反射板には巻取り式のスクリーンが内蔵されています。チェコの老舗ピアノブランドである PETROF(ペトロフ)社のグランドピアノ P194 Storm を常設、2022年8月には修復師/和田明子氏が同年に修復を完了した1860年製の PLEYEL(プレイエル)社のグランドピアノ フティ・バトロンが仲間入りました。響きに拘りをもって設計されたこの音楽空間、天井から降り注がれる音の響きと、構造・音色ともに異なる2台の個性あふれるピアノが特徴の音楽サロンとなっております。2014年のオープンからトップクラスの音楽家をお迎えして歩みを進める Sala MASAKA 主催公演、皆様の応援に心より感謝申し上げます。



チェコ共和国
ペトロフ社
訪問記

予告なく変更となる場合がございます。

2025
Concert
Series

48th
4/20(日)

漆原 啓子
Vn.



©Eiji Shigenaga

秋場 敬造
Pf. ペトロフ



49th
5/11(日)

横岡 剛之
Pf. ペトロフ



©Masahito Yokogawa

50th
6/8(日)

マイケル・ザレツキー
Vla.



©Michael Zaretsky

52nd
7/20(日)

柴田 千賀子
Pf. ペトロフ



©Chika Chida

53rd
7/27(日)

藤森 亮一
Vc.



©Ryosuke Fujimori

54th
11/3(月・祝)

横山 美里
Pf. ペトロフ



©Misato Yokoyama

55th
11/9(日)

風川 佑
Vn.



©Yuto Kaze

56th
12/14(日)

秋元 孝介
Pf. ペトロフ



©Takashi Akimoto

57th
11/3(月・祝)

漆原 啓子
Vn.



©Eiji Shigenaga

58th
11/3(月・祝)

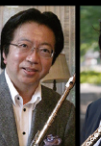
ヤコブ・ロイシュナー
Pf.



©Jakob Roissner

59th
11/9(日)

飯島 和久
Fl.



©Kazuhisa Iijima

60th
11/9(日)

飯島 諒
Fl.



©Ryo Iijima

61th
11/9(日)

飯島 未来
Pf. ペトロフ



©Mirai Iijima

62th
12/14(日)

鮫島 明子
Pf. プレイエル



©Akiko Samejima